



わが町内の
いきいきおばちゃん

青木 ハルエさん 大正十五年十月十三日生まれです。

本年百歳という大きな節目を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。

若き日には日赤善通寺病院に勤務され、戦時中は別府陸軍病院において医療の最前線で尽力されました。物資も人手も不足する厳しい時代の中、命と向き合い続けられたご苦労は、計り知れないものがあつたことと思います。

終戦後はふるさと高松市に戻られ、日本赤十字社にて助産婦として多くの新しい命の誕生を支えてこられました。泣き声とともに始まる人生の第一歩に寄り添い、母と子の命を守り続けてこられたその姿は、地域の人々の記憶と感謝の中に今も生き続けています。

激動の大正・昭和・平成、そして令和へと時代を超えて歩まれてきた100年。その豊かな経験と

温かなお人柄は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。

これからもどうか健やかに、穏やかな日々を重ねられますよう、心よりお祈り申し上げます。



花園地区社会福祉協議会
会長 中村 順一

日頃より、花園地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。地域の皆さまお一人おひとりの温かい支えがあつてこそ、私たちの取り組みは継続し、広がりを見せています。

近年、地域を取り巻く環境は大きく変化しており、高齢化の進行や生活様式の多様化など、私たちが向き合う課題も複雑さを増しております。しかし、その一方で、支え合いの輪を大切にしようという思いは、花園地区にしっかりと根づいており日々実感しています。見守り活動やふれあいサロン、子育て支援など、各種事業の場で交わされるささやかな声かけや笑顔が、地域の安心感をつくり出しています。

私たち社協は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「できることを持ち寄り、支え合う地域づくり」を目指して活動を進めてまいりました。今後も、行政や関係団体、自治会の皆さまと連携を深め、地域の実情に寄り添った取り組みを一層推進してまいります。結びに、引き続き皆さまの温かいご支援と

ご参加をお願い申し上げます。花園地区が笑顔あふれる地域であり続けることを願ひ、ご挨拶いたします。



高松市立花園小学校
校長 仁科 大成

地域と共にウエルビーイングを

花園小学校では、子どもたちの『ウエルビーイングの向上』をめざし、教育活動に取り組んでいます。ウエルビーイングとは、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福であり、個人だけでなく地域や社会が持続的に良い状態であることを含みます。子どもたちのウエルビーイングのためには、ふるさとの自然、歴史や文化、地域に暮らす人々の思いや愛情に触れることで、他者の多様な生き方に気づき、自分の興味や関心を育むことと共に、将来にわたる豊かな活力のある地域を築く主体者であるという自覚を育むことが大切です。

今年度は、三年生が『しあわせな町花園』をテーマに、障がいのある方や高齢者の方との交流を通して、地域共生の在り方を考えました。四年生は『我ら環境調査隊』をテーマに、御坊川の水質調査や地域の公園の清掃活動などの体験を通して、自分も地域の環境の一部であるという当事者意識をもちました。

今後、子どもたちはもちろん、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、学校と家庭・地域の連携・協働を大切にしたいと考えています。今後とも、皆様のご理解とご協力をより多くお願いいたします。



社会福祉法人平安福祉会
平安保育園
園長 平野 尚昭

花園地区の東に位置する当園は、保育所、地域子育て支援拠点事業を実施しており、子ども・子育て支援等を行う保育施設です。地区の福祉に関しては、過去、地域の老人クラブや民生委員さんとの交流、コミュニティ事業を通して連携させていただいてきたところですが、地域の人口変遷やコロナ禍もあつて、以前のように園児との連携等が深まっていないのが実情です。執筆者本人は地域コミュニティの関連機関の会議等に出席し、地域の諸事情等の情報共有が行われていることから、今後も機会を得られれば、地域の福祉において交流を行いたいと考えていますので、ご理解ご協力をお願いしたいと思います。

さて、地域子育て支援拠点事業におきましては、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供して、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和することで、こどもの健全な育ちを支援しております。近隣の子育て家庭の皆様が各家庭のペースで利用されたいと思いますので、子ども子育てに関して何なりとご相談いただき、それぞれの子育てライフにご活用いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



認定こども園
高松くりの木學舎
園長 森田 浩之

花園に高松くりの木保育園を開園させていただいてから早八年の月日が流れました。途中、認定こども園とするため「高松くりの木學舎」へ園名も少し変わりましたが、この間地域の皆様の変わらぬご厚情に感謝申し上げます。

振り返りますとコロナ前の夏祭りのこと、まだ園児も少ないなかでの初めての夏祭り参加となり、何かしなないとの思いで当法人で作っているパンを、暑い中でしたので衛生上冷やして「冷パン」として売り出したり、地元で採れたオクラの詰め放題などを行い、好評だったことが思い出されます。そのあとは徐々に子どもも増え、夏祭りや運動会に子どもたちが参加できるようにになりました。参加する行事では皆さんに声をかけてもらったり、応援してもらったりと子どもたちの大きな自信になっているようにも思えます。

私が特に感じるものはこの花園地区は言い方が適当ではないかもしれませんが「古き良き」人情が残っている場所だと思えます。少し離れたら新しいマンションや住宅街があり、そこからも園に通っているお子さんも多いですが、こども園に在る間は地域の温かさに包まれ健康やかに育つ保育を目指したいと思えます。これからも高松くりの木學舎をどうぞよろしくお願いいたします。



安全・安心な
住みよいまちづくり
花園地区コミュニティ協議会

文化祭

令和7年11月8日(土)



防災について 令和7年11月15日(土)



安全・安心



つながりを大切に

11月15日(土)に防災訓練を行いました。
起こりうる災害時の状況を想定し、いざという時に行動できるように、
引き続き防災訓練の積み重ねが必要です。ご参加ご協力お願い致します。



備蓄品・持出品などの確認

いきいきサロン

学園南ふれあい いきいきサロン

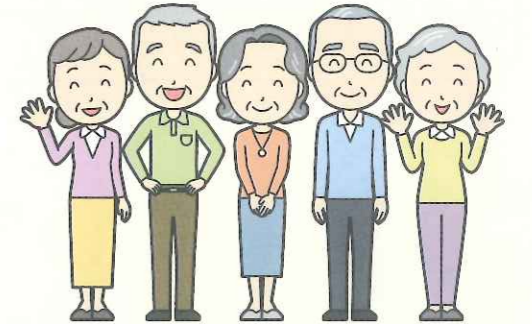
と き：令和7年10月21日(火)
12:00~14:00



- ・挨拶
- ・血圧測定
- ・抹茶タイム
- ・講師のお話(多田慎吾先生：健康運動士)
サルコペニア予防について
前回に続き休養について
- ・脳トレ(数合せ・計算問題・合唱)

地域の高齢者の皆さまが気軽に集い、会話や
レクリエーションを通じて交流を深めました。

地域によるふれあいいきいきサロン
開催団体の募集中!!



運動する会

令和七年十一月二十三日(日)

花園地区体育協会
会長 河谷 百合子



令和7年8月23日(土)

高松市生活困窮者自立相談支援事業

生活や仕事の悩みごとをお聞きして、自立に向けてのお手伝いをします。

相談無料 自立相談支援センターたかまつ

こんなときは早めに相談しましょう

健康

病気で働けない。治療や入院など、今後の生活が心配。

生活

長い間、引きこもっている子どもは、働く気もお金もない。どうしよう。



仕事

ブランクが長くて、働く自信がない。社会復帰がこわい。

家族

親の介護のために仕事をやめたが、生活費が足りない。

総合的な相談窓口です。お気軽にご連絡ください。

TEL 087-802-1081

地域の高齢者と元気ワクワク交流会開催

地域の高齢者の皆さまが気軽に集い、会話やレクリエーションを通じて交流を深めました。



交通安全街頭キャンペーン



交通ルールを守ることが、命を守ることにつながります。皆さまのご協力をお願いします。一人ひとりの心がけて、交通事故は減らせます。

今日も無事故で、笑顔の帰宅を

子どもと高齢者を守る運転を



子どもたちによる校内の清掃活動 学校校庭がきれいになりました。



清掃活動



もちつき大会

令和七年十二月二十日(土)



湯気の立ちのぼる臼のまわりに、子ども、親、祖父母が自然と輪をつくります。「よいしょ!」という元気な掛け声に合わせて、杵が力強く振り下ろされるたび、会場には軽やかな音と笑顔が広がります。初めて杵を持つ子どもに、そっと手を添えるおじいちゃん。

昔ながらの手つきを見せながら、「こうやって返すんだよ」と優しく教えるおばあちゃん。世代を超えたぬくもりが、臼のまわりに流れます。

つきあがったもちを、みんなで丸め、あんこやきなこをまぶしながら語らうひととき。日本の伝統と人と人とのつながりを、改めて感じる、あたたかなもちつきの情景です。

